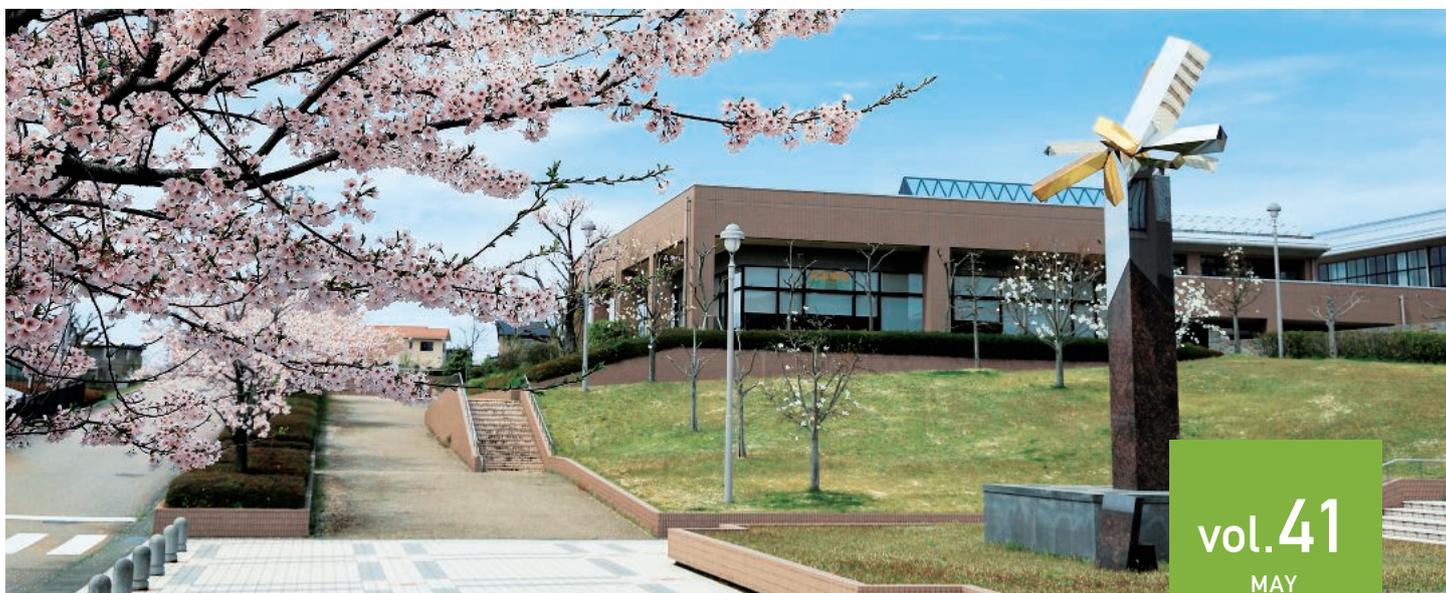


# CAMPUS NET

特集

石垣学長から真田学長へ  
つながるバトン



vol.41

MAY  
2022

# 石垣学長から真田学長へ つながるバトン

2022年3月末で第3代石垣和子学長が退任し、4月より第4代真田弘美学長が就任しました。

石垣前学長は公立大学が法人化した2011年から学長を務め、11年間、本学の先頭にたって、様々な活動を進めてくださいました。

今回の特集では、新旧学長へつながるバトンをテーマに、石垣前学長の功績と真田新学長からのメッセージを紹介します。



石垣和子前学長

対談

石垣和子 前学長 × 川島和代 教授

## 地域を知り、世界を知る 多彩な活動が本学の魅力に

**川島** 石垣先生が学長に就任されてから本学の国際化が進んだと共に、地域に目を向けた活動にも精力的に取り組んでいただいていたと感じています。

**石垣** 赴任して最初に感じたのは地域を大事にする大学なのだという事でした。過疎地域で働いた経験もあって、能登に目を向ける姿勢にはとても共感を持ちました。ちょうど石川県地域連携推進事業の予算が付いたこともあり、能登町の「猿鬼歩こう走ろう健康大会」に協力することになりました。数年後には「看護大健康キャンペーン」を設置するようになり、教員・学生・卒業生など多くの関係者が参加し住民の皆さんの健康づくりをサポートする活動に発展しています。ここから能登町の皆さんとのつながりが出来、地域を学ぶ「フィールド実習」も実現しました。



**川島** ローカルな課題を知り、住民の皆さんとともに解決するという事は、保健師の卵になるための活動のスタートですね。本学ではそのほか、地元のかほく市や津幡町との活動を行っている先生もいらっしゃいます。

**石垣** 当初から先生も学生たちもすごくエネルギーがあって、大学全体としてまとまりがよかったと記憶しています。

**川島** 石垣先生が直接訪問して、地元の方々とお話をされるなど、トップセールスしていただいたことが大きかったと思います。

**石垣** あの頃は本当に能登をよくまわっていましたね。

**川島** そうしたところから、ルーラルナーシング学会の学術集会を「里山海道の暮らしと看護」というテーマで和倉温泉で開催することにつながりました（2013年10月）。

**石垣** はじめて大学ではない場所で開催したのがこのときでした。ここで、あなみず地域医療塾の皆さんとも知り合い、協力して活動するようになりました。能登で就職する学生も増えたように思います。

**川島** 開学当初は能登出身でも地元に戻る学生は少なかったんです。現在は故郷で就職する人も多くなり、能登のどの自治体にも看護師、保健師として本学の卒業生が活躍しています。

**石垣** 国際交流の面では以前からアメリカ看護研修は行っていました。もっと実情が日本に近いアジアの国での研修の必要性を感じました。それで韓国、タイの大学と協定を結び、看護研修を実現しました。先生方をはじめ、事務方の皆さんにも後押ししていただき、本当に助かりました。

**川島** 国際看護研修は本学を選ぶ大きな理由になっています。すべての看護師に地域とグローバルな世界の動きを学ばせたいということ言葉を発信していただき、大学のビジョンが大切だということも先生から学びました。

**石垣** 皆さんがこうした活動に共感してくれたお蔭だと思います。楽しい思い出がたくさんありますね。

**川島** 一方で学会の編集委員長をされたり、理事長を務めたり、研究活動にも積極的に取り組ん



川島和代教授

でおられます。2019年には27年ぶりに石川県で日本看護科学学会学術集会（JANS）を開催することもできました。

**石垣** そういうめぐり合わせだったということなのですが、JANSの開催にあたっては大学院生や若い先生たちも参加して貴重な経験ができたのではないかと思います。

**川島** 学内に目を向けると、看護キャリア支援センターの開設、大学院の助産師養成課程の開設も大きなトピックです。看護キャリア支援センターの感染管理認定看護師教育課程はコロナ禍で志願者がすごく増えています。

**石垣** 感染看護の取り組みで県との関係がとて近くなりましたね。看護キャリア支援センターは石川県地域医療推進室の方から箱モノや物品の購入ではない、ソフト面で中身のあること

ができないかと相談されたのがきっかけです。まだ大学での認定看護師教育には抵抗のある時代でしたが、前職での経験もあったので自信をもって進めることができました。

**川島** 石垣先生には常に新しいステージへ進んでいけるエネルギーをいただきました。最後に先生のあふれるパワーの源についてお聞きできればと思います。

**石垣** やはり本学には私の考えに呼応してくださる方がたくさんいたことに尽きると思います。あとは、仕事は言われてやるものではなく攻めの姿勢で取り組む方が、気持ちよくできていると思います。それは、元来の私の性格かもしれませんが。

**川島** 自ら提案して実現する、大学教員としての姿勢そのものだと思います。本日はありがとうございました。

## 真田新学長のメッセージ

### 生きる力を看る、とことん護る！

学長 真田 弘美

看護学は、人々が幸せに命を全うすることを科学的に支援する学問です。本学に集う学生たちには、看護学の科学的基盤を盤石にしながら、命を尊び人々に固有な生活の質を大切に

する豊かな人間性を自ら醸成して欲しいと考えています。本学は、県民の健康と福祉の向上に貢献できる看護師、保健師、助産師、看護学研究者の育成を目指しています。そして、地域の課題にしっかりと向き合うことが、延いては世界の課題解決に繋がるグローバルな視点を涵養します。すなわち、保健・医療・福祉の現在から未来、地域から世界を回遊するような四次元的な学びを体感して欲しいのです。

今、科学技術の世界は激変のときです。たとえば、人工知能やロボティクスなどの活用は様々な領域で進んでいます。もちろん、保健、医療、福祉の分野でも例外ではありません。しかし、そのようなときだからこそ、科学が万能ではないことも理解しなければなりません。私たち看護学の領域はもともとそのような性格を持っています。人それぞれがどのように生きたいかという最重要の価値観に、私たち専門家が向き合ってさまざまな課題解決に努力します。そのためには私たち一人一人の人間性が極めて重要です。それぞれの感性と創造力を研ぎ澄まして、私たちは人々の健康と福祉に関する難題に挑戦し続けたいと思います。



谷本正憲石川県公立大学法人理事長と



そして、前学長が最も大切にされた地域への貢献と、国際的視野から看護を創造できる人材養成を踏襲しつつ、今後は社会の要請に応えるべき新しい看護学、たとえば、我慢させない療養生活を実現させるための産学連携研究による機器や技術開発にも力を入れていきたいと思っています。

大学教育では既に分かっている知識や技術を伝承することよりも、まだ分からないことを探究する力や答えのない課題を問い続ける力を身に付けることを重要視します。なぜなら、それが未来を創り出す原動力になるからです。この広々とした穏やかな“かほく”の地で、知的な包容力をたっぷりとしに付けませんか。そのための支援に、私たち教職員は全力を尽くします。

最後になりますが、2022年4月1日より、民法では18歳が成人年齢となります。新入生のほとんどが、2年生も対象となります。成人となり、充実した人生をおくるために、「社会人としての責任」が果たせるよう、教員一同、最大限支援します。

#### Profile

石川県金沢市出身  
聖路加看護大学卒業 医学博士  
米国イリノイ大学大学院留学研修  
東京大学健康科学・看護学専攻長、学科長、グローバルナーシングセンター センター長を経て2022年4月より現職  
元日本看護科学学会理事長、元日本褥瘡学会理事長、元日本創傷・オストミー・失禁看護管理学会理事長、元日本看護協会副会長

## 石垣前学長との思い出

看護キャリア支援センターの創設者である石垣和子学長

元看護キャリア支援センター長 丸岡 直子

石垣学長のご功績の一つに、本学附属看護キャリア支援センターの創設があげられます。思い起こせば、石垣学長の「さらなる看護大学の地域貢献は何か」という問いかけが、看護職者のキャリア形成支援の拠点として2013年11月の創設に結びつきました。創設後には、認定看護師（感染看護・認知症看護）や認定看護管理者の育成などに大いなるエールを送っていただきました。コロナ禍の今、それぞれの分野の修了生が全国で活躍しており、石垣学長の問いかけが、大きな茂みのある木となっていることを感じています。



看護キャリア支援センター設立記念講演会  
講師のフシントン大学 F.M.ルイス博士と(2013年11月)



感染管理認定看護師教育課程(1期生)  
開講式での挨拶(2014年7月)

威風堂々

地域看護学 教授 塚田 久恵



私と韓国との関わりは、2012年に石垣先生、前学長の金川先生等に随行して、韓国慶尚南道の慶尚大学に行ったのがきっかけでした。その後、私自身の研究や全北大学との締結でも一緒にさせていただきました。この間、行く先々で歓待を受けたものの、政治的問題を問われ、大変困惑したこともありましたが、石垣先生の周りに流されることなく威風堂々とされた姿がとても印象に残っています。一方、韓国は香辛料多めの食べ物が多いのですが、これにも全く動じず、また、韓国の若者に流行のシュガーがけのフライドチキンをおいしそうに食されていたのは大変驚きでした。



## 石垣和子第3代学長の足跡

1944年9月	東京都生まれ
1967年3月	東京大学医学部保健学科卒業 東京大学大学院医学系研究科(保健学修士)
1979年	東京大学大学院医学系研究科(医学博士)
(この間)	東京大学大学院医学系研究科・ 東京都神経科学総合研究所勤務 東京都中野区・三宅島での10年余の保健師勤務
1993年5月	東京大学医学部健康科学・ 看護学科家族看護学講座助教授
1997年4月	浜松医科大学医学部看護学科地域看護学教室教授
1999年4月	千葉大学看護学部訪問看護学教育研究分野教授 (2003年学部長)
2008年4月	千葉県参与・千葉県立保健医療大学健康科学部長
2011年4月	石川県立看護大学第3代学長・法人副理事長
2013年11月	石川県立看護大学附属看護キャリア支援センター創設
2018年4月	石川県立看護大学大学院看護学研究科 博士前期課程助産看護学分野開設

### 【主な活動】

#### ■ グローカル人材育成

- ・ ヒューマンヘルスケア科目の創設、ボランティア活動の単位化
- ・ 大学コンソーシアム石川大学間連携共同教育推進事業  
学都いしかわグローバルヤングリーダー輩出(県内最多12名)
- ・ 国際看護論演習Ⅰ(米国研修)・Ⅱ(韓国研修)・Ⅲ(タイ研修)の単位認定

#### ■ 大学の国際化・国際貢献

- ・ 2002年度～ MOU締結(韓国1大学、中国2大学、タイ1大学、米国2大学)
- ・ 2017年 日中韓看護フォーラムの開催(金沢市)
- ・ JICA日系研修(パラグアイ日本人会・羽咋市社協連携「草の根技術協力事業」採択)・青年研修(カンボジア他)

#### ■ 研究推進・語学力向上

- ・ 学生・教員の語学力向上への支援(語学学修、英語論文作成のための指導者招聘、海外発表・論文投稿費助成)
- ・ 科学研究費採択のための申請書作成支援・学内研究助成制度や学長裁量経費創設・石川県立大学との共同研究推進

#### ■ 看護系学会の招致

- ・ 2019年 第39回日本看護科学学会の開催(学術集会長講演「ヒトと人間の科学を看護へ」/金沢市)



最終講義の様子





教授 今井 秀樹  
Hideki Imai

人類生態学と環境保健学

### ● PROFILE

1961年三重県生まれ。東京大学医学部保健学科卒業。東京大学大学院医学系研究科を修了して博士(保健学)を取得。国立環境研究所研究員、筑波大学助教授などを経て2020年より現職。日本衛生学会、日本健康学会などに所属。

## 環境因子とヒト集団の健康像の関係

南米アンデスの高地(4000m)に居住する人々を対象とした、高地環境への生理学的適応像に関する研究をしていました。高地では酸素分圧が小さく、ヒトの血液ではヘモグロビン濃度の上昇がみられます。血液中のヘモグロビン量が増えることは活性酸素種という生体にとって有害な物質を産生することにもつながります。ヒトの体内には様々な活性酸素種を消去する、様々な酵素が存在しますが、それらの酵素の一つにグルタチオンパーオキシダーゼがあります。グルタチオンパーオキシダーゼはその活性中心がセレン(イオウ族の必須微量元素)であり、生体のセレンの摂取量が小さいと、血液中のグルタチオンパーオキシダーゼ活性も低くなります。また血清中セレン濃度が低い地域では、乳がんや胃がんなどの死亡率が高いという報告もあります。アンデス高地において食事調査および血液採取を行い分析した結果、高地居住者では血液中のグルタチオ

ンパーオキシダーゼ活性を高く保つためにセレンの摂取量が低いにも関わらず血液中のセレン濃度を高く保持するような生体内機構が存在することが示唆されました。

本学に着任してからは能登地域を対象として、環境因子とヒト集団の健康との関係について研究を進めていこうと考えています。



石川県の自然に魅かれています。特に日本海の荒波を眺めていると、元気が全身に漲ります。



講師 工藤 義信  
Yoshinobu Kudo

中世文学

### ● PROFILE

神奈川県出身。英国ヨーク大学英文科修士課程修了(MA in Medieval Literatures)。2021年より現職。2021年6月、松浪奨励賞(日本中世英語英文学会)及び第2回西洋中世学会賞受賞。

## 中世イギリス文学における書物編纂者の役割とその文化的意義

印刷術がまだ普及の途上にあった15世紀イギリスにおいて、文学作品は主に手書きの本によって伝えられていました。ほとんどの場合、作者本人の手による原稿は残っておらず、他の人々が書き写したものが残されています。文学作品を書写した人々は、作品の言葉を変えたり、ある部分全体を削除したりと、大小の様々な変更を加えています。作者本人が書いたはずの作品の元の形を探る目的にとって、作者以外の手による変更はその妨げでしかありません。しかし視点を変えて、書写した人たちがどんな言葉や文章を変えたり消したりしてしまったのかを一つひとつ洗い出していくと、なぜそのような一連の変更を加えたのかが浮かび上がることがあります。そこに、手書きで文学が流布していた時代ならではの文化的現象が広がっているのです。私の現在の研究は、15世紀半ばに著された、父から子への教訓という形式をとる英詩作品を対象とし、この詩を

収録した現存の写本一つひとつを吟味することで、ひとつの作品が当時の社会状況を背景としていかに生み出され、いかに多様な仕方で編集され、多様な読者に読み親しまれ、しまいには読まれなくなっていったのか——言わば、詩がたどった生涯を跡づけることを試んでいます。



休日に足湯を利用してくつろいでいます(写真は辰口の足湯施設)。県内各地にバラエティに富んだ足湯施設があるので、旅とともに楽しんでおすすめです。



EVENT

卒業式・学位授与式  
学部83名が卒業、大学院10名が修了

令和3年度の卒業式・学位授与式を3月19日(土)に挙行了しました。学部生83名が卒業、大学院生10名(前期課程9名、後期課程1名)が修了しました。石垣学長はこの先にかける期待を波に例え、「周囲の力を借りながら上手に波を乗り越えてほしい」と激励しました。谷本正憲石川県知事からは「医療現場を支え、信頼される看護職として羽ばたくことを期待する」との言葉をいただきました。石田忠夫県議会議長からもあたたかい祝辞をいただきました。卒業生を代表して林美穂さん、修了生を代表して小村未来さんが、コロナ禍での学生生活を支えてくれた友人や家族、教職員などに感謝を述べました。保護者・家族の方には、中継で観ていただきました。



代表授与



答辞



学長表彰を受けたみなさん

学部卒業生の言葉 小竹 彩華さん

大学生生活は多くの人との関わりを通し、人として成長することができた4年間でした。1年生から看護を学び、2年3年と実習を積み重ねることで看護の知識が確実なものになりました。3年生ではコロナウイルスが蔓延したことで、思うような実習が行えず、当たり前だった患者さんとの会話も制限されることとなりました。初めは戸惑いが大きく、将来へ不安を感じましたが、先生方や医療従事者の方が十分に学ぶ機会を下さり、学内、臨地実習それぞれの良い面を取り入れられたと感じています。4月からは、実習を受け入れてくださった方々に感謝の思いを抱き、また石川県立看護大学で学べたことを誇りに頑張っていきたいです。



大学院修了生の言葉 立川 啓太さん

私は研究活動で目的を見失わないことの重要性を学びました。「何のために、何を明らかにするか」という研究目的を定期的に振り返ることで研究の一貫性を意識することができました。目的を見失ってはいけないのは実際の看護でも同じだと思います。コロナ禍で人々の生活様式や医療現場が変化する中、私たち看護職者は自身の健康を守りつつ、ケアを待つ人々にどう手を差し伸べることができるかを常に考える必要があります。「コロナ禍だからできない」ではなく、どうすれば「対象のニーズを満たせるか」。看護の役割と目的を振り返りながら臨床でのケアや研究につなげていきたいと思っています。



EVENT

第23回入学式  
学部生84名、大学院生10名が入学

4月5日(火)、晴天の中、第23回入学式が講堂にて挙行され、学部生84名、大学院生10名が入学を許可されました。感染対策として新入生のみの参列とし、式の様子はインターネットでLIVE配信しました。

真田弘美学長は式辞の中で、これからの学びにおいて、既存の知識と技術を超越して探究する力を培うことと、人として大きく成長していくことの大切さを説き、新入生を祝福しました。馳浩石川県知事は、看護の知識と技術に加え、命の大切さや他人の痛みがわかる心を養い、将来の地域医療に貢献することに期待を示されました。ご来賓の油野和一郎かほく市長からは、地域をフィールドとした学びを通して豊かな人間性を育むことへの期待が述べられました。



## 退職のごあいさつ 令和4年3月で本学を退職した教員からコメントをいただきました。



### 様々な看護分野が活かされ活躍できる「在宅看護」・「災害看護」

林 一美 教授 担当：地域・在宅・精神看護学講座 在宅看護学

私は学部教育では「在宅看護」「災害看護」を担当していました。「在宅看護」も「災害看護」も、あらゆる健康状態や障害の人・発達課題にある人と、その家族が看護の対象となるため、様々な看護分野が活かされ活躍できる領域だと思います。本学の学部生は、全員が2つの教育課程（看護師教育課程と保健師教育課程）を学びます。2つの資格を得ることは、幅広く活躍できる場や機会を得ることにつながります。開学の頃（20年前）の学生の中には「訪問看護に就くつもりがないので在宅看護には興味を持っていない」と言っている人がいました。在宅看護は、単に訪問看護だけでなく地域生活への移行に向けた支援、コミュニティケア等を含むので、どの看護分野においても重要であると伝え続けてきました。したがって、現在では昔のような認識の学生はいなくなりました。そして、ここ数年は、ストレートで訪問看護に就く学部生や在宅分野で活躍している卒業生も増え、とても頼もしく嬉しく思います。

思い出の1枚



2007年3月25日に発生した「石川県能登半島地震」の際、石川県からの要請をうけ「石川県立看護大学災害救護班（写真右から2番目）」として、27日に輪島市門前町に入りました。まだ震度4の余震が続く中で、地元の保健師さん達と共に災害看護活動をしました。



### 石川県立看護大学のみなさまへ

中田 弘子 教授 担当：基礎看護学講座

コロナ禍3年目の春となりました。本学には2008年に着任後、14年間お世話になりました。在籍中の教育、研究、大学運営、地域貢献のすべては、周囲のみなさまの支えにより勤めることができました。心から感謝申し上げます。これまで学生や院生への教育と研究を通して、ほんとうの「いい問い」を持ちうることは、問題を解くことよりもはるかに難しいことを解きました。また、相互に新たな発見や活路を拓く力、人間としての強さ等、成長できたのではないかと思います。この2年間の学内はコロナの功名もありましたが、根拠が得られない正しさとの葛藤や過度な負荷がかかりました。そのような中で学生と心が触れ合う時間、教員、事務局のみなさまと困った時には「助けて」と言い合える関係があったことは私のタカラモノです。これからも誰かを、何かを大切にしたい時を重ねていきたいと思えます。末筆ではございますが、石川県立看護大学の益々の発展とみなさまのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

## 附属施設 INFORMATION

### 附属図書館

#### がんばルームに新型パソコン設置

図書館2階のがんばルームに、新型PCを設置しました。Officeなど基本的なソフトウェアも入れてありますので、文献検索だけでなく様々な用途で使えます。ぜひ活用してください。また4月よりオンラインで視聴できる看護学関係の映像教材の契約を開始します。これについては追って利用方法等を連絡していきます。こちらも自学自習にぜひ活用してください。



### 地域ケア総合センター

#### コロナに負けず 地域の健康推進のために

2021年度もCOVID-19新型コロナウイルスによる感染拡大の影響を受け、オンライン開催が多くありました。しかし、感染予防の知識を活かし様々な企画を実施することができました。今年度の新しい事業として、岩佐教授の「パーキンソン病いきいきリハビリ」がありました。当日は、脳神経内科専門医やリハビリスタッフなどの協力もあり、15名が参加し講義のあと音楽に合わせて体操を行い、100%の方に満足いただけました。



### 看護キャリア支援センター

#### 感染管理認定看護師教育課程・ 認定看護管理者教育課程修了式

2022年2月4日（金）、令和3年度「感染管理認定看護師教育課程」「認定看護管理者教育課程サードレベル」の合同で修了式を行いました。コロナ禍の影響で、履修生や来賓の方々にはリモートによる参加で修了式を行いました。石垣学長から修了証書が読み上げられ、期待を込めた激励の挨拶がありました。両教育課程共々力強い決意とお世話になった方々への感謝、仲間と共にここで学んだ事を糧に、明日からの実践を誓いました。



## 国家試験の合格状況 令和3年度看護師・保健師国家試験合格状況（第19期生の状況）

区分	卒業生	受験者数	合格者数	合格率	
				本学	全国（新卒のみ）
看護師	83名	83名	83名	100.0%	96.5%
保健師	83名	83名	76名	91.6%	93.0%

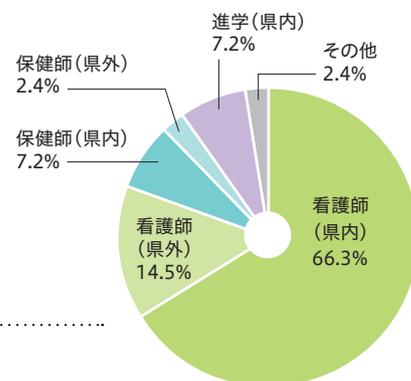
## 卒業生の進路状況 令和4年3月31日現在の就職・進学状況は次のとおりです。

### 〈県内就職内定・進学先〉

**看護師** 石川県立中央病院、金沢大学附属病院、金沢医科大学病院、JCHO金沢病院、金沢赤十字病院、公立羽咋病院、公立穴水総合病院、公立松任石川中央病院、珠洲市総合病院 他

**保健師** 石川県、金沢市、津幡町、志賀町、能登町

**進学** 石川県立看護大学大学院、金沢大学養護教諭特別別科



### 〈県外就職内定・進学先〉

**看護師** 富山大学附属病院、富山赤十字病院、国立病院機構静岡医療センター、愛知医科大学病院、岐阜県総合医療センター、長野諏訪赤十字病院、白報会王子病院、東京医科歯科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、湘南鎌倉総合病院、神戸市民病院 他

**保健師** 福井市、橿原市（奈良県）

**進学** 茨城県立医療大学助産学専攻科

## 令和4年度 キャンパススケジュール 令和4年度キャンパススケジュールについては下記のとおりです。

前期	夏のオープンキャンパス	7月10日(日)
	補講・試験	8月1日(月)～8月10日(水)
	夏期休業	8月11日(木)～9月30日(金)
後期	授業開始	10月3日(月)
	大学祭(看大祭)	10月22日(土)

後期	秋のオープンキャンパス	10月22日(土)
	冬期休業	12月22日(木)～1月4日(水)
	補講・試験	2月13日(月)～22日(水)
	春期休業	2月23日(木)～
	卒業式・学位授与式	3月18日(土)



## 石川県立看護大学グローバルはまなす基金



開学から20年が過ぎた今日、社会や家族の変化、医療経済の危機に対応した医療の再編が間近いことが聞こえてまいります。本学では今後ますます時代や地域にあった看護師・保健師・助産師を輩出する努力を重ねる所存です。そこで、学生・大学院生の国内外研修を推進する事業や、教育・研究活動において地域社会に貢献する事業を推進することを目的に、「グローバルはまなす基金」を設立しました。趣旨にご賛同いただける方からのご寄附をお待ちしております。

お申込み・お問合せ先（石川県立看護大学総務課）076-281-8300

